

令和 7 年度 通常総会

議 案 書

令和 7 年 6 月 2 日

大分コンビナート企業協議会

令和 7 年度
大分コンビナート企業協議会

通常総会

令和 7 年 6 月 2 日

第 1 号議案 令和 6 年度事業報告及び収支決算について

第 2 号議案 令和 7 年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

第 3 号議案 大分コンビナート企業協議会規約の改正について

第1号議案

令和6年度事業報告及び収支決算について

令和6年度事業報告

1. 通常総会

令和5年度事業報告及び収支決算、令和6年度事業計画及び収支予算を議決した。
また、コンビナートの企業間連携による国際競争力強化の取組、最新の動向について講演いただいた。

開催日 令和6年6月6日
場所 レンブラントホテル大分
講演 山口大学大学院 技術経営研究科 研究科長 稲葉 和也 氏
「コンビナート・リノベーション」
経済産業省資源エネルギー庁
資源・燃料部 政策課 課長 貴田 仁郎 氏

2. 競争力強化検討部会

競争力強化ビジョンに基づく協議会の活動における企画運営を担うとともに、各分科会の活動計画、活動状況の取りまとめを行った。

(部会開催実績)

第1回：令和6年5月21日

・各分科会活動報告、脱炭素先行地域づくり事業の参画

第2回：令和7年3月17日

・土地可能性調査について 他

3. 分科会活動事業等

競争力強化ビジョン実現のため、4つの分科会と1つのプロジェクトチームを設置の上、それぞれのテーマに沿って検討し、その具体化に取り組んだ。

○ユーティリティ分科会

各事業所での余剰エネルギーやユーティリティ資源、副産物の事業所間での相互融通、連携等を検討

幹事：ENEOS、クラサスケミカル

メンバー：鶴崎共同動力、日本製鉄、NSスチレンモノマー、
大分エル・エヌ・ジー、住友化学、大分瓦斯、東亜合成、
シコク硫炭、日油、大分市、大分県

活動内容：先進地視察、資源エネルギーの融通検討、地場企業との連携検討 等

○物流分科会

良好な港湾設備を最大限に活かすため、船舶大型化への対応や荷役対応力の強化等を検討

幹 事：日本製鉄、ENEOS、大分県

メンバー：クラサスケミカル、NSスチレンモノマー、王子マテリア、
大分エル・エヌ・ジー、住友化学、三井E&S、
JX金属製錬、大分市

活動内容：関係機関との勉強会・意見交換会 等

○規制緩和分科会

効率的な事業展開や設備増強を制度面で支えるため、危険物エリアにおける非防爆機器の活用などを検討

幹 事：クラサスケミカル、大分県

メンバー：ENEOS、日本製鉄、NSスチレンモノマー、
九州電力、住友化学、大分市

活動内容：勉強会、規制緩和の検討、届出や提出書類の省略・簡素化 等

○人材育成分科会

優秀な人材の育成・確保のための効果的な仕組の構築・運用を検討

幹 事：クラサスケミカル、NSスチレンモノマー

メンバー：ENEOS、日本製鉄、九州電力、王子マテリア、
大分エル・エヌ・ジー、住友化学、三井E&S、
JX金属製錬、大分瓦斯、大分市、大分県

活動内容：女性活躍推進セミナー、安全実技体験研修、出前授業 等

○スマート保安・IoT推進プロジェクトチーム

産業保安のスマート化を図るため、IoT・AIの活用推進としてドローンなどの活用を検討

幹 事：ENEOS、クラサスケミカル、NSスチレンモノマー、
日本製鉄

メンバー：九州電力、王子マテリア、大分エル・エヌ・ジー、住友化学、
三井E&S、JX金属製錬、大分瓦斯、大分市、大分県

活動内容：勉強会、意見交換、各社のスマート保安の取組共有等

4. 人材育成事業

山陽人材育成出前講座を開催し、各企業の中核となる人材の育成を図った。

(人材育成分科会により実施)

第1回 令和6年11月26日～27日

テーマ「トラブル事例分析による事故災害の未然防止」 11社21名

第2回 令和7年2月27日～28日

テーマ「事故事例から学ぶ化学プラントの防災」 6社12名

講 師：(公社)山陽技術振興会

費用負担：大分コンビナート企業協議会、参加企業 各1/2負担

令和6年度収支決算

自 令和6年4月1日 至 令和7年3月31日

収入の部

(単位:円)

科 目	決算額	予算額	差引	備 考
負担金	3,796,300	3,765,000	31,300	
大分県負担金	2,305,000	2,305,000	0	
大分市負担金	600,000	600,000	0	
研修参加負担金	891,300	860,000	31,300	①山陽人材育成出前講座等参加者負担金 ②AI/IoT推進研修参加者負担金 ③若手・中堅社員交流会/事業所間交流会負担金
雑収入	8,946	0	8,946	
預金利子	1,234	0	1,234	
その他	7,712	0	7,712	①令和5年度会計事務の一元化に伴う費用負担(人件費)の精算による還付金 ②資金前渡清算金
繰越金	645,114	645,114	0	
計	4,450,360	4,410,114	40,246	

支出の部

(単位:円)

科 目	決算額	本年度予算額	差引	備 考
分科会活動事業	1,417,860	2,098,000	△ 680,140	
報償費	0	200,000	△ 200,000	
旅費	0	128,000	△ 128,000	
印刷消耗品費	198,000	200,000	△ 2,000	パンフレット印刷代
委託費	1,163,300	1,250,000	△ 86,700	プラント運転・保安IoT/AI人材育成講座
使用料及び賃借料	56,560	320,000	△ 263,440	人材育成分科会バス代
負担金	0	0	0	
人材育成事業	1,407,600	1,400,000	7,600	
負担金	1,407,600	1,400,000	7,600	山陽人材育成出前講座受講料
事務局経費	647,388	912,114	△ 264,726	
報償費	100,000	100,000	0	講師謝金
旅費	30,380	64,000	△ 33,620	講師旅費
食糧費	75,762	30,000	45,762	懇親会費、会議茶代等
印刷消耗品費	15,467	79,914	△ 64,447	事務用品費等
役務費	7,290	20,000	△ 12,710	通信費、振込手数料等
使用料及び賃借料	348,132	450,000	△ 101,868	総会・部会会場費等
負担金	70,357	168,200	△ 97,843	会計事務委託に係る経費
翌年度繰越	977,512	0	977,512	
計	4,450,360	4,410,114	40,246	

令和6年度会計監査報告

大分コンビナート企業協議会規約第5条第3項の規定に基づき、令和6年度（令和6年4月1日～令和7年3月31日）の本協議会の会計を監査した結果、諸帳簿、預金、関係証拠書類等について、いずれも適正に処理及び保管されていることを確認したので報告する。

令和7年5月14日

監事 福島知克



監事 石川良一



第2号議案

令和7年度事業計画及び収支予算について

令和7年度事業計画（案）

1. 通常総会

- ・議 案 令和6年度事業報告案及び収支決算案
令和7年度事業計画案及び収支予算案
規則の改正
- 開 催 日 令和7年6月2日
- 場 所 レンブラントホテル 二豊の間

2. 競争力強化検討部会

- ・各分科会の活動計画及び活動状況の取りまとめ、勉強会を実施
- ・「グリーン・コンビナートおおいた推進構想」を実現するため、カーボンニュートラル検討 PT を開催
(部会開催計画)
 - 第1回：令和7年5月15日
 - ・各分科会の取組報告 他
 - 第2回：令和8年3月
- (カーボンニュートラル検討 PT 開催計画)
 - ・GX 推進セミナーの開催
 - ・先進地視察の開催

3. 分科会活動事業

- ・「競争力強化ビジョン」に基づき、分科会を中心に企業間連携の具体的取組を検討・実施
- (1) 検討体制
 - ・4つの分科会（ユーティリティ、物流、規制緩和、人材育成）とスマート保安・IoT 推進プロジェクトチームを中心に取組を推進
 - ※検討状況の進捗管理、全体調整については各社の現場責任者等で構成する競争力強化検討部会が担う。
- (2) 研修会、先進地視察等の実施
 - ・課題解決策の検討のため、分科会毎に特定分野の研修会等を開催

(3) 競争力強化ビジョン実現に向けた活動

- ・ビジョンの実現に向け、関係機関・団体との連携促進や、必要に応じ各種要望活動等を実施

※「グリーン・コンビナートおおいた推進構想」実現に向けた課題に対応

- ①県内・九州地域のカーボンニュートラルなどへの貢献
- ②県外コンビナート地域等との連携
- ③水素保安規制等への対応
- ④人材の確保・育成 など

4. 人材育成事業

(1) 山陽人材育成出前講座

競争力強化やリスクマネジメントなどに関する人材の育成を目的に、各企業の中核となる者を対象とした人材育成講座を開催

(2回開催予定：2日間／1回)

(2) プラント運転・保安 IoT/AI 人材育成講座

プラント運転・保安の現場で IoT や AI を活用できる人材を育成するため、プラント運転リーダーや保全リーダーを対象とした講座を開催

(1回開催予定：2日間／1回)

令和7年度収支予算(案)

自 令和7年4月1日 至 令和8年3月31日

収入の部

(単位:円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	差引	備 考
負担金	3,765,000	3,765,000	0	
大分県負担金	2,305,000	2,305,000	0	
大分市負担金	600,000	600,000	0	
研修参加負担金	860,000	860,000	0	山陽人材育成出前講座参加者負担金 AI/IoT推進研修参加者負担金
雑収入	0	0	0	
預金利子	0	0	0	
その他	0	0	0	
繰越金	977,512	645,114	332,398	
計	4,742,512	4,410,114	332,398	

支出の部

(単位:円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	差引	備 考
分科会活動事業	2,158,000	2,098,000	60,000	
報償費	200,000	200,000	0	研修講師謝金等(カーボンニュートラル検討に向けた講師謝金10万円×2回)
旅費	138,000	128,000	10,000	研修講師旅費(カーボンニュートラル検討に向けた講師旅費6万9千円×2回)
印刷消耗品費	250,000	200,000	50,000	コンビナートパンフレット作成費等
委託費	1,250,000	1,250,000	0	スマート保安実証事業 ドローン導入セミナー
使用料及び賃借料	320,000	320,000	0	会場費、借上バス等
負担金	0	0	0	受講料
人材育成事業	1,500,000	1,400,000	100,000	
負担金	1,500,000	1,400,000	100,000	山陽人材育成出前講座受講料
事務局経費	1,084,512	912,114	172,398	
報償費	100,000	100,000	0	講師謝金
旅費	75,000	64,000	11,000	講師旅費
食糧費	90,000	30,000	60,000	会議茶代等
印刷消耗品費	179,512	79,914	99,598	事務用品費等
役務費	20,000	20,000	0	通信費、振込手数料等
使用料及び賃借料	450,000	450,000	0	総会・部会会場費
負担金	170,000	168,200	1,800	会計事務委託に係る経費
計	4,742,512	4,410,114	332,398	

第3号議案

大分コンビナート企業協議会規約の改正について

規約の改正について、大分コンビナート企業協議会規約第15条第1項第3号の規定により、下記のとおり議決を求める。

○会員企業名の変更について（第9条、別表1）

第9条に基づき、別表1のとおり定める会員企業について、組織改正に伴い、名称を変更する。

（会員）

第9条 協議会の会員は別表1の企業、団体の代表とする。

（別表1）大分コンビナート企業協議会 会員企業・団体

（改正後）

（略）
<u>クラサケミカル株式会社大分コンビナート</u>
（略）

（現行）

（略）
<u>株式会社レゾナック石油化学事業部大分コンビナート</u>
（略）

○事務局、事務局長の変更について（第22条）

大分県の組織改正に伴い、事務局設置部署、事務局長役職を次のとおり変更する。

（事務局）

第22条 協議会の事務局は大分県商工観光労働部産業GX推進室内に置く。

2 事務局には、事務局長および所要の職員を置く。

3 事務局長には大分県商工観光労働部産業GX推進室長をもってその職にあてる。

参考（規約）

（議決事項）

第15条 次に掲げる事項については、総会により議決する。

- 一 事業計画及び収支予算
- 二 事業報告及び収支決算
- 三 規約の変更
- 四 解散及び残余財産の処分
- 五 その他会長が特に必要と認める事項